

経済指標ウォッチャー

# 米国ISM製造業景況感指数は8カ月連続の50超え

ワクチン普及の進展や追加経済対策による景気回復が景況感を下支えか

## ISM製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の製造業の景況感を示す指標のひとつ。米国の主要指標の中で最も早い毎月第1営業日に発表され、景気先行指数として非常に注目度が高い。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

## 製造業景況感指数は8カ月連続で50超え

全米供給管理協会（ISM）が2月1日に発表した2021年1月の製造業景況感指数は、58.7と前月の60.5から1.8ポイント低下し（図表1）、事前予想（60.0）も下回りました。新型コロナウイルスの感染再拡大による外出制限の強化から、実店舗販売が減少しており、製造業の景況感の改善ペースには鈍化がみられるものの、8カ月連続で好況・不況の節目である50を上回っています。

業種別では製造業の18業種中16業種で活動拡大がみられ、引き続き幅広い業種において景況感は改善しているようです。

## 新規受注、生産は高水準、雇用は改善

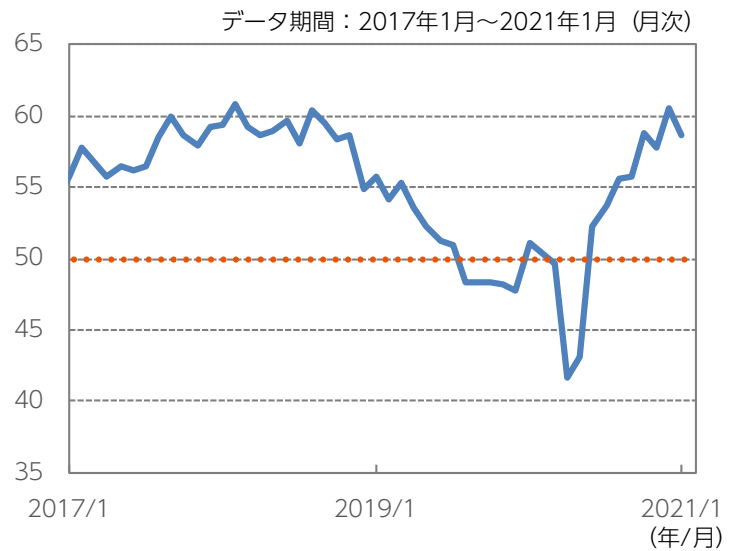
主な構成指数では、新規受注が61.1（前月比-6.4）、生産が60.7（同-4.0）と低下しましたが、50を大きく上回っており、生産活動に関する景況感は依然として高い水準にあります（図表2）。前月に節目の50を上回った雇用は52.6（同+0.9）と2カ月連続で50を上回りました。高水準の新規受注を背景に企業の採用意欲は高まりつつあるようです。

## ワクチン普及や経済対策が景況感を下支えか

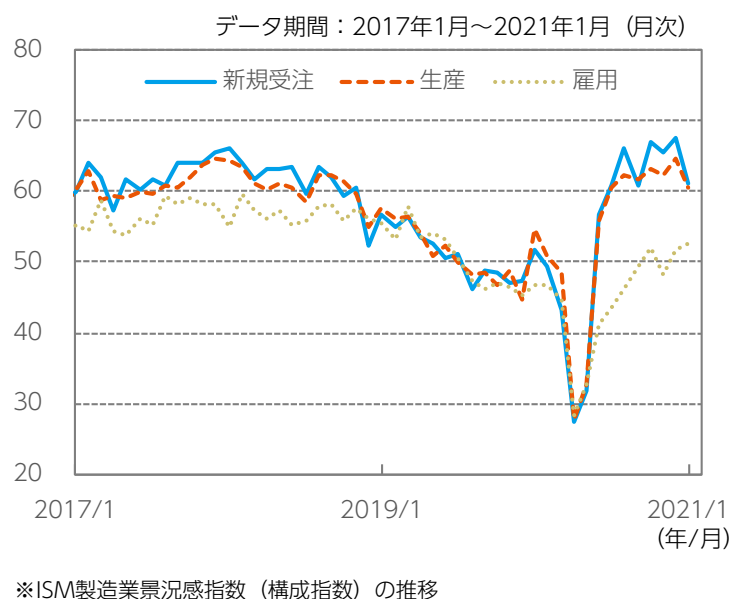
足元では新型コロナウイルスワクチン接種が進んでおり、経済活動の正常化が期待されます。また、一人当たり1,400ドルの現金給付などを含む追加の経済対策をバイデン新大統領が打ち出していることも景気回復を後押しする要因と思われます。

ワクチン普及の進展や追加の経済対策により景気回復が見込まれることから、引き続き製造業の景況感は底堅く推移するものと思われる。

図表1：製造業景況感指数は8カ月連続で50超え



図表2：新規受注、生産は高水準、雇用は改善



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>